



高精度ディバイダ1340A

MODEL 1340A

- キャリブレータやDVMの直流電圧特性評価に活用
- 10:1, 100:1, 1000:1, 10000:1 に分圧
- 最大入力電圧 1100 V
- 各分圧機構 (10:1) の安定性 0.3 ppm
- 回路保護のチャンバーを内蔵
- 参照標準1330A,732B,732Cと組み合わせ運用
- 自己調整は不要



特徴	長所
最大1100V入力に対し、10分の1、100分の1、1000分の1、そして10000分の1に分圧出力します。	10V参照標準を直接接続し、比較電圧を出力します。参照標準の具体例は1330A、732B、732Cです。
日常、運用前の校正を行う必要はありません。	日常の手間がありません。
温度安定化した装置内チャンバーに特別な設計の高精度な抵抗回路を組み込んでいます。	チャンバーは電磁シールド構造でもあり、外部の電磁ノイズや温度変化を防御します。
キャリブレータの出力を1340A前面で接続します。DVMへは接続も1340A前面で行います。接続ケーブルは付属しています。	運用は容易です。
装置内部温度はPT100でモニターできます。	前面パネルの端子に接続するだけです。
ディバイダ回路は特別に選択した抵抗器を使用し、回路を構成しています。	ディバイダ回路の特性は、長期に渡って再調整を行う必要はありません。
1340Aは、10V参照標準1330A、732B、732Cと組み合わせて運用します。	直流電圧ディバイダの最先端の装置は優れた能力を発揮します。

MI1340Aは、計測技術者が計測技術者のために設計および開発した装置です。キャリブレータやDVMのDC電圧計測特性の検証に活用できる、ユーザーフレンドリーな基準分圧器です。

1340Aはキャリブレータや様々なソースが出力する直流電圧を高精度に10000分の1、1000分の1、100分の1そして10分の1にします。付属のケーブルを介してキャリブレータとDVMに接続できます。作業とても簡単です！



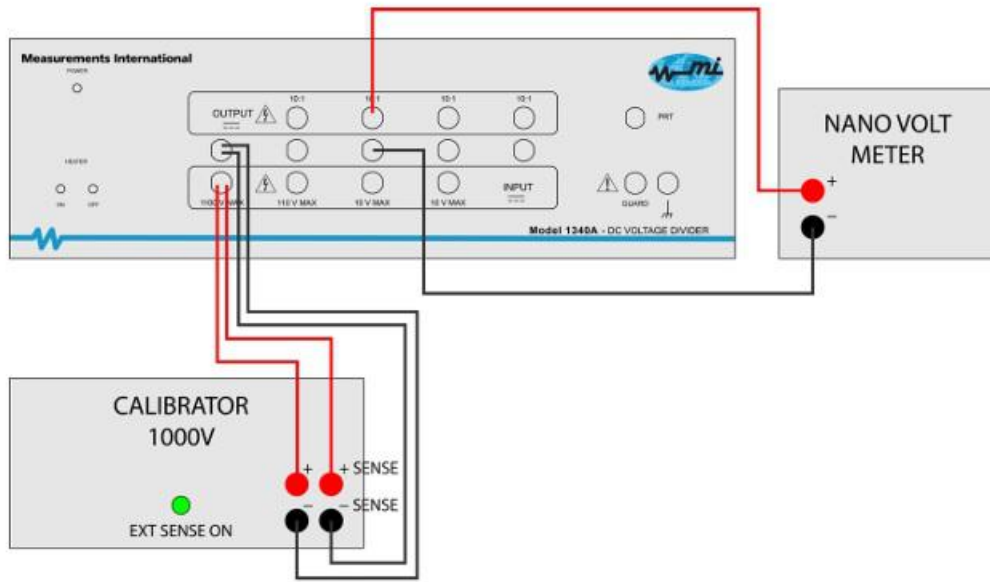


図1 1000V入力を10V出力にして計測

次の図は、ナノボルトメータと10V電圧標準として1330A、732B、または732Cを使用して計測する方法を示しています。ナノボルトメータをヌル検出器として使用し、キャリブレータ 1000V出力のオフセット電圧（10V電圧標準との差）を検出しています。

同じようにキャリブレータ100V出力のオフセット電圧（10V電圧標準との差）も検出できます。

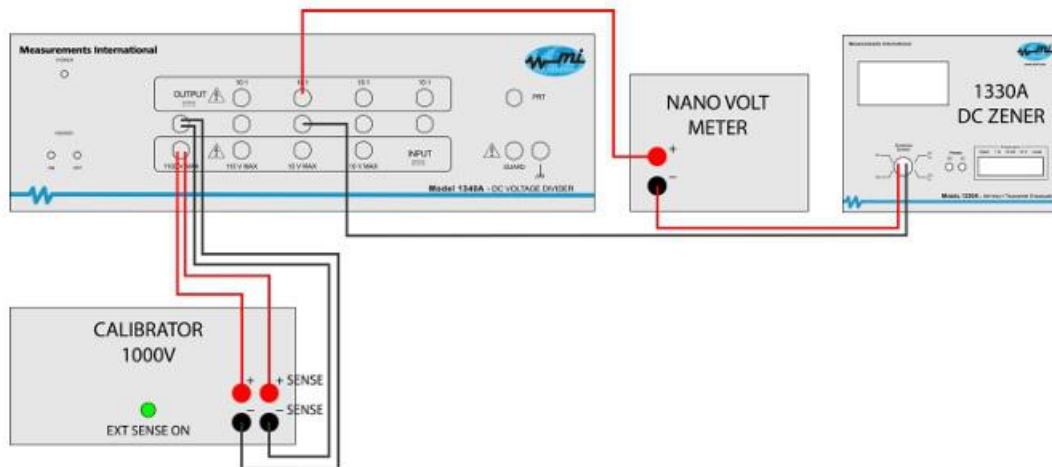


図 2. 運用例: キャリブレータのオフセット計測



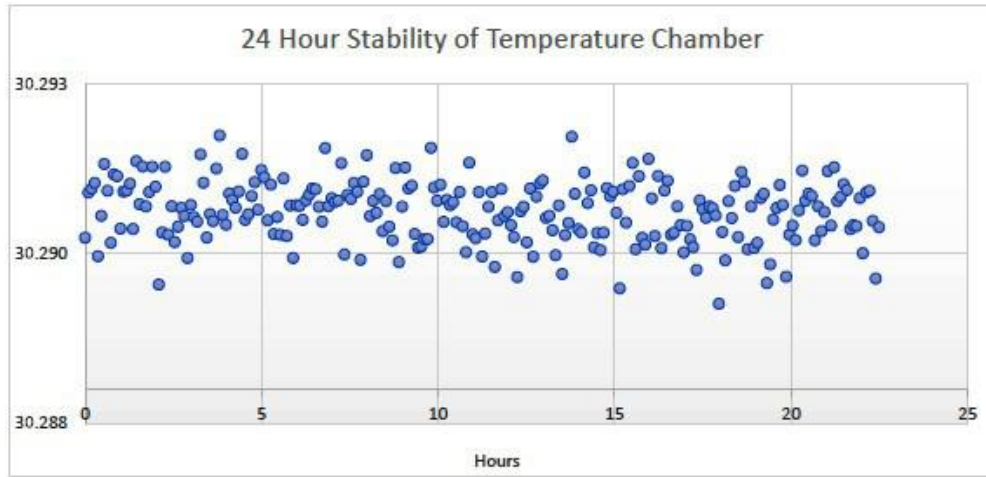


図3. 1340A チャンバー内の 24 時間温度安定





Specifications: Rev 4

比率	比率 安定性 R* (30日)	最大入力電圧
ステージ 1 10:1	0.3	10 V
ステージ 2 10:1	0.3	10 V
ステージ 3 10:1	0.3	110V
ステージ 4 10:1	0.3	1100V
比率 不確かさ		
100:1	$\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)}$	
1000:1	$\sqrt{(R_1^2 + R_2^2 + R_3^2)}$	
10000:1	$\sqrt{(R_1^2 + R_2^2 + R_3^2 + R_4^2)}$	
装置内 温度安定性		± 0.1° C / 1年
動作環境温度		23° C ± 5° C
初期暖機時間		24 時間
動作環境湿度		20 to 90 % 結露なきこと
保管環境		-50° C to +50° C
自己調整		不要
対地絶縁抵抗		> 10 ¹² Ω
57 * * への接続ケーブル		付属
PT100ケーブル		付属
保証期間		2年間

オプション:

出力ケーブル PN: 1340-0 終端むき出し仕様 PN: 1340-C 顧客要求仕様

寸法 (L × W × H):

445 × 432 × 127 (mm)

重量:

9 kg

出荷重量:

13 kg

主電源:

85 to 264 V – 47 to 440 Hz

メジャーメンツインターナショナルジャパン株式会社

〒573-1136

大阪府枚方市宇山東町6-1 メロディーハイム枚方牧野公園207号室

TEL/FAX 072-396-4660

URL: <http://www.mijpn.com> URL: <http://www.mintl.com> Email info@mijpn.com

